

【指定就労継続支援 A 型事業所 経営改善計画書】

事業所名称	せのお農園		代表者氏名	妹尾 廣夫	
事業所所在地	岡山県加賀郡吉備中央町上竹1638				
連絡先	電話番号	090-4570-7673		FAX番号	0866-54-1380
職員数	3	定員	15	利用者数	11 (うち身体 4 知的 6 精神 1 その他)
事業所の設置主体	社会福祉法人 ・ 民間企業 ・ NPO法人 ・ その他			設立年月日	平成24年5月30日
改善計画期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日 (1年間)				

1 現在、指定基準条例第180条第2項（賃金及び工賃）を満たすことができていない理由と具体的改善策（詳細かつ具体的に記載すること）

(未達成理由) R4年度は7月、8月の売り上げが例年の半分以下であった、原因はコロナで夏場、花苗が売れないと判断し作付け量を減した、単価も下がった。9月に前半にコロナ感染により10日閉鎖した影響で作付け量が減った。	(具体的改善策) 花苗については、R4年度は最終的にはR3年度の出荷量とほぼ同じ量を出荷でき、R5年度も花卉については現状維持で行くが、2万ポットほど増やし、100万円ほどの収益増を目指す。又黒大豆の作付面積を増やし収益増につなげる。
---	---

2 現在の事業内容及び改善計画期間を通じて実施する事業内容

現在の事業内容	改善計画期間を通じて実施する事業内容
別紙様式2-2の具体的改善策と実施時期等を参照願います。	経営改善計画書の積算根拠内訳書参照願います。

(※) 事業内容には、生産活動の内容、対象顧客、市場動向、競合相手の動向、改善後の事業内容に主に従事する者の数や属性（どのような資格、経験等を持った者が担当するか等）について詳細に記載すること

3 現在の生産活動に係る事業の収入額及び改善計画期間を通じて基準適合を達成する事業収入目標額（1年間の額を記載）

現在の収入額	改善計画期間を通じて達成するべき目標収入額
13,117,329円	15,950,000円
経営改善計画書の積算根拠内訳書及び具体的改善策と実施時期等を参照願います。	(積算根拠)
	花卉はR4年度収入+100万円
	水稲はR4年度と同じ 黒大豆は100万円の収益を上げる

(注) 目標収入額は、積算根拠に基づいた実現可能性のある数値であること。

4 現在の生産活動に伴う経費及び改善計画期間を通じて基準適合を達成する必要経費の見込額（1年間の経費を記載）

現在の経費	改善計画期間を通じて見込まれる経費
3843100円	4515000円
(主な費用) 経営改善計画書の積算根拠内訳書及び具体的改善策と実施時期等を参照願います。	(積算根拠)
	花卉は2万ポット増で2万×20円/ポット=400000円
	黒大豆は約5反増やすから約25000円/反×10反=約271900円になる よって増加分の671,900円となる。

5 現在の生産活動に係る収益額及び改善計画期間（基準適合の目標期間）後の収益の見込額

現在の「収入－経費」	改善計画期間後の「収入－経費」
13,117,329円-3843100円=9274229円	15950000円-4515000円=11435000円

6 現在の利用者の総賃金額及び改善計画期間（基準適合の目標期間）後の利用者の総賃金額

現在の支払い総賃金額	改善計画期間後の支払い総賃金額
10,609,002円	10,200,000円
(積算根拠) 別紙様式2-2の具体的改善策と実施時期等を参照願います。	(積算根拠)
	R4年度の後半からの利用者11人の実績は月85万円位で有り生産活動も遅れもなくこなすことが出来ているため。

事業所代表者署名欄 妹尾 廣夫 (押印不要)

※「現在」はいずれも、指定基準条例第180条第2項を満たさないと判断された前年度1年間のものを記載すること。
※その他、社会福祉法人会計基準に基づく会計書類等、地方公共団体が必要と認める書類を添付させること。

経営改善計画期間中の具体的改善策と実施時期等

項目	課題	実施期間	具体的な改善策											
花卉栽培	夏場の栽培品種	R5年7月～8月	花卉は夏場は売れない物ですが、品種を選定し栽培したい。											
水稻栽培	作業軽減対策	R5年4月～R6年3月	燃料費の高騰もあり、耕起の回数を減らしたい。											
黒大豆栽培	猪対策	R5年6月～R6年2月	今年は100a作付けを考えています。猪対策は地域全体で協力をし、資金も出し合 い捕獲に努めたい											

(計画期間中の見込額)

令和5年～6年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
収	就労支援事業収益	800,000	1,300,000	1,250,000	800,000	650,000	1,150,000	1,550,000	2,600,000	850,000	900,000	1,300,000	2,800,000	15,950,000
益	就労支援事業活動収益計②(=①-③)	800,000	1,300,000	1,250,000	800,000	650,000	1,150,000	1,550,000	2,600,000	850,000	900,000	1,300,000	2,800,000	15,950,000
	就労支援事業販売原価③(=④+⑤+⑥+⑦)	340,000	600,000	350,000	250,000	200,000	150,000	350,000	250,000	780,000	300,000	420,000	525,000	4,515,000
費用	期首製品(商品)棚卸高④													0
	当期就労支援事業製造原価⑤													0
	当期就労支援事業仕入高⑥													0
	期末製品(商品)棚卸高⑦													0
	就労支援事業販管費⑧													0
	就労支援事業活動費用計⑨(=③+⑧)	340,000	600,000	350,000	250,000	200,000	150,000	350,000	250,000	780,000	300,000	420,000	525,000	4,515,000
	就労支援事業活動増減差額⑩(=②-⑨)	460,000	700,000	900,000	550,000	450,000	1,000,000	1,200,000	2,350,000	70,000	600,000	880,000	2,275,000	11,435,000
	支払い賃金総額⑪	850,000	850,000	850,000	850,000	850,000	850,000	850,000	850,000	850,000	850,000	850,000	850,000	10,200,000

利用者への支払い賃金は費用に含めず、支払い賃金総額⑪へ記載すること。

(前年度実績)

令和4年～5年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
収	就労支援事業収益	749,734	1,198,982	1,178,129	245,665	235,164	966,286	1,453,801	2,572,088	749,043	885,718	1,205,402	1,677,317	13,117,329
益	就労支援事業活動収益計②(=①-③)	749,734	1,198,982	1,178,129	245,665	235,164	966,286	1,453,801	2,572,088	749,043	885,718	1,205,402	1,677,317	13,117,329
	就労支援事業販売原価③(=④+⑤+⑥+⑦)	335,466	494,192	319,478	137,495	116,586	146,654	299,708	217,153	695,089	267,792	372,109	441,378	3,843,100
費用	期首製品(商品)棚卸高④													0
	当期就労支援事業製造原価⑤													0
	当期就労支援事業仕入高⑥													0
	期末製品(商品)棚卸高⑦													0
	就労支援事業販管費⑧													0
	就労支援事業活動費用計⑨(=③+⑧)	335,466	494,192	319,478	137,495	116,586	146,654	299,708	217,153	695,089	267,792	372,109	441,378	3,843,100
	就労支援事業活動増減差額⑩(=②-⑨)	414,268	704,790	858,651	108,170	118,578	819,632	1,154,093	2,354,935	53,954	617,926	833,293	1,235,939	9,274,229
	支払い賃金総額⑪	1,142,581	1,083,534	1,003,368	1,027,935	603,831	784,851	843,832	806,368	750,841	862,564	764,927	934,370	10,609,002

着色セルは自動計算されます。また、金額には3桁ごとにカンマが入り、マイナスの場合は先頭▲が付くよう設定しています。

経営改善計画書の積算根拠内訳書（利用者に係る人件費等を除く。）

【計画期間】令和5年4月1日～令和6年3月31日

※「確定値」＝契約済み単価、「見込値」＝契約単価見直し可能、実績に基づく見込み、「期待値」＝希望的数値を可能限り表示。

事業区別	事業収入・必要経費項目	現在の収入額及び経費	計画期間を通じて達成するべき目標収入額及び見込まれる経費	単価、個数、時間等の設定根拠	
花卉栽培	収入	R4年度収支のまとめを参照いたします	R4年度は他会計からの充当額が約215万円であり、この内、花卉栽培で100万円の収入アップを目標にする。よって、100万円÷45円/ポットで約20000ポットの出荷数量を増やす。よって増加する経費は、20円/ポット×20000ポットで400000円増加する。	R4年度収支のまとめを参照いたします	
	必要経費	土。ポット。諸材料費	2643892円	3043892円 (400000円Up)	R4年度収支のまとめを参照いたします。 電気、ガソリン代、高速代、農薬・肥料は土、ポット、諸材料費と比べると増加分は無視できる。
		電気（動力）	151816円	昨年並みとする	
		ガソリン代	157956円	昨年並みとする	
		高速代	174000円	昨年並みとする	
	農薬。肥料	110436円	昨年並みとする		
		合計 3238100円	合計 3638100円		
水稲栽培及び黒大豆栽培	収入	R4年度は天候にも恵まれ、1671244円で反当たり84000円でした。黒大豆については、猪の被害に遭いほぼ全滅でした。53781円の売り上げでした。	R5年度は他会計からの充当額の100万円を水稲、黒大豆で達成する	水稲栽培は現状の200aで、黒大豆は100aとします。黒大豆は15万円/10aの反収が見込める。よって150万円の売り上げが見込める。	
	必要経費	水稲は1671244円の売り上げ、経費は反当たり24000円よって480000円また黒大豆は反当たり125000円よって1250000円の売り上げ、経費は反当たり25000円よって250000円となり収入は約100万円が見込める。	水稲はR4年度並とし、黒大豆は反別を5反増やし1町歩とし125万円の売り上げが見込める。経費は250000円/反×5反＝1250000円の増となり、収入は約100万円が見込める。	R5年度の経費は3718100円+796900円＝4515000円となります。	